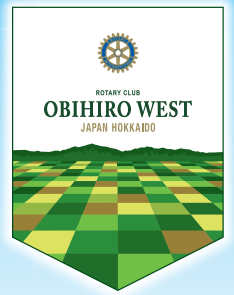




帯広西ロータリークラブ 第1988回例会 2013.3.14 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

3月結婚祝い

披露 萱場誠一会員

川上哲平会員、柴田和明会員、奥田頼昌会員
山本範之会員、齋藤憲生会員、小谷典之会員
立崎貴之会員、堂山啓太会員、河西智子会員

3月誕生祝い

川上哲平会員、柴田和明会員、佐々木和彦会員
谷脇正人会員

乾杯

久保忠正会員



清々しく、春模様の中でお生まれになったのもご結婚をされたのもとても素晴らしいことと思います。3月結婚祝い、誕生祝い、おめでとうございます。では、乾杯！

会長報告

川田会長

例会場に掲げてある国旗ですが、少々汚れており、国旗に失礼ですので、今年度中に新しいものにしたと思います。皆様のご了解をお願いします。

先日の猛吹雪の中、道内では何人もの方が亡くなりました。「ホワイトアウト」によるものです。長年生活しておりますが、十勝では経験したことがありませんが、かつて一度だけ新年の挨拶回りの折り、斜里から根室士別に抜ける道で完全なホワイトアウトに遭ったことがあります。あっという間に道路は埋まり何も見えなくなってしまいました。タイヤチェーンを付けようとして1本の作業をするだけで雪が毛髪の中にまで入り込み、瞬く間に頭が雪でキノコ状になり、息をするのも苦しい思いをしました。偶々運転手が自衛隊出身者で、それだからか車の中に寝袋を二つ乗せておりました。「1~2日くらいは大丈夫だ」という心強い言葉があって少し安心したことを覚えております。この十勝では、そんなことを経験したことはありません。それは日高山脈、大雪山系、そして防風林の効果が大きいのだらうと思います。本当に十勝は恵まれていると思います。先日亡くなられた方々は本当に可哀相で悲しいことですが、自然が牙をむく時というのは本当の恐いもの

です。それにつけても津波を含めて、自然災害の面では、十勝は素晴らしいところだと改めて思います。

さて、4月の高松RCでの移動例会に36名もの参加をいただき、ありがとうございます。皆さんに散財をかけること、少々心苦しい思いがありますが、この機会に高松RCと友好を深めたいと思っております。

最後に、4月最終例会を欠席させていただきます。フランスのボルドーとスペインへの旅行を予定しております。お詫びにスペインのロブローニョRCを訪問してきます。1920年代に創立した会員20数名の古い、小さなクラブですが、その会長とも連絡がついております。そんなわけで例会欠席をご了承下さい。帰ってから例会でロブローニョRCのご紹介をしたいと思います。

会務報告

大友幹事

委員会報告

・若林社会奉仕委員長：お手元にアンケートを配布してあります。西クラブ会員みなさんの社会奉仕について調べてみたいと思っております。皆さんの幅広い活動の中での社会奉仕について、ご記入の上ご連絡下さい。

・河西プログラム委員長：4月高松RCでの移動例会の件ですが、各テーブルに出欠状況、航空券、ホテルなどについてまとめた一覧表をお配りしております。各自、ご自分の分につきチェックをお願いします。高松RCでは、楽しい企画を用意していただいているようです。

ニコニコ献金

披露 立崎貴之会員

平田利器会員 本日は会員増強委員会の担当例会です。

渡部省一会員 孫が大学受験に合格しました。
北川勝啓会員 長女が高校を卒業しました。自分の夢に向かって元気に学んでほしいと思います。

立崎貴之会員 ニコニコ献金の報告をさせていただきます。

2013年 3月 識字率向上月間

ニコニコ 3月14日 8,000円
献金 累計 472,000円 (3月14日現在)



会長 川田 章博 副会長 岡田 武稔 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会
幹事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

「めざせ70名！！素敵な仲間を増やしたい」

Part2



11月29日の例会でされた会員増強についての話し合いを纏めたものを各テーブルに配布してあります。その時に検討グループでリストアップされた方々のその後の状況は如何でしょうか？さらに引き続きフォローをお願いいたします。現況では残念ながら、進展はなく厳しい現実となっております。その中から委員長として4名の方を訪問してお話しをさせていただきましたが、断りの言葉ばかりで前に進みませんでした。リストアップされた方との人間関係の甘さ、付き合いの浅さ、そのズレを感じるばかりでした。その経緯から強く思ったことは、委員会だけの取り組みでは限界があるということです。会員増強はやはり、クラブ全体で取り組まなければならない、クラブとしての取り組みの仕掛け、形を変えるべき時を迎えているということです。配付した資料の内容については、次年度の深澤委員長の下での増強活動の参考にしていただきたいと思います。

みんなで作ろう

帯広西クラブの広場

越智孝佳 会員 「狛犬を訪ねて」その2

一回目で、狛犬ロード（狛犬巡り）を始めたきっかけを紹介しました。今回は私見も混じりますが狛犬の雑学をお話したいと思います。

狛犬の謂れは、中国古来のものとか色々な説がありますが、基本的には日本独自の文化です。古くは1600年頃のものが見られますが、狛犬の起源は平安時代の木彫神門狛犬とも言われています。色々通説はありますが、皆さんも漠然と守り神としてのものであろうと考えていると思います。元々、屋内にあったと考えられますが、NHK大河ドラマの「平清盛」のワンシーンの、後白河天皇との謁見場でチラリとそれが見えた気がしました。（NHKの大道具さんは、よく時代背景を勉強していると感心！）それが後に寺社本殿の守り神として入り口に立つようになった様です。阿吽の呼吸という言葉がありますが、口を開けた“阿形”、口を閉じた“吽形“で一對となっています。一般的に向って右が”阿形“、左が”吽形“です。形状も様々あり、学術的に統一されたものはありません。ただ愛好者の間で分類について型分けのようなものがあります。江戸型（時代ではなく場所）、難波型、古代型、かむり型、岡崎現代型、護国神社型など結構多く形状分類があります。またモチーフも、獅子、犬、寅、狐・・・などなどです。基本的に雌雄を表現していませんが、また面白いところで性別を明解している狛犬もあります。目、鼻、鬣、角のあるもの、子持ち、玉持ちなどの形状の違いで細かく分類されます。座り姿勢も向かい合ったもの、互いに正面を向くもの、少し斜に構えて（内向き、外向き）向かい合うものと様々です。



護国型（靖国神社）

皆さんも、多少の知識を持つだけで狛犬の見方も変わってくると思います。変わった面白い狛犬に出会えるかも知れませんよ！



角のある狛犬
(吉原神社／吉原)



古代型
(赤坂氷川神社)



江戸型
(利田神社／品川)



獅子山の狛犬
(神田明神／神田)